江東湾岸サテライト スマートナーサリースクール テニスの森キャンパス 1/2

TOTO

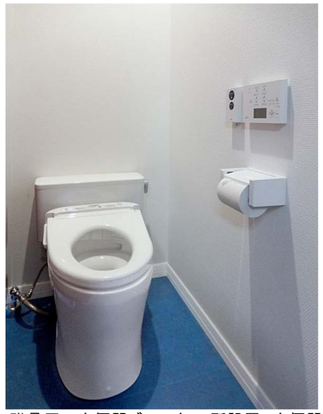
外観

施設ではなく「住まい」であるというコンセプトを感じさせる外観。専用の電気自動車バスで分園と本園（テニスの森キャンパス）間を送迎する。

テラス「杜の回廊」

部屋をぐるりと囲む大きな縁側には、さまざまな木が植えられ、遊びながら自然と触れ合うきっかけを作っている。食事をすることもでき、非難用に滑り台も整備されている。

5歳児用トイレ



職員用の大便器ブースを1ヶ所設置。大便器は、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。主に職員が使用するが、子供達も練習として使用できるように配慮している。

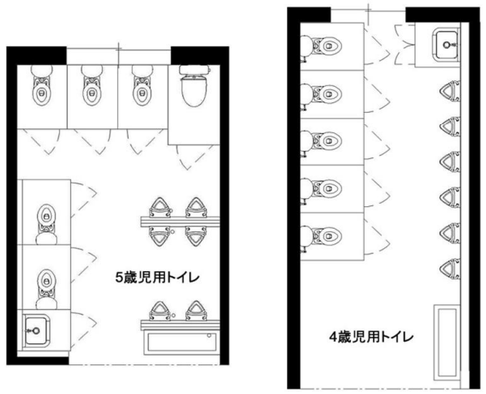
説明パネル

教育の一環として、すべてのトイレにトイレの特長や使い方を紹介した説明パネルを提示。子どもたちにトイレを身近に感じてもらえるよう配慮している。

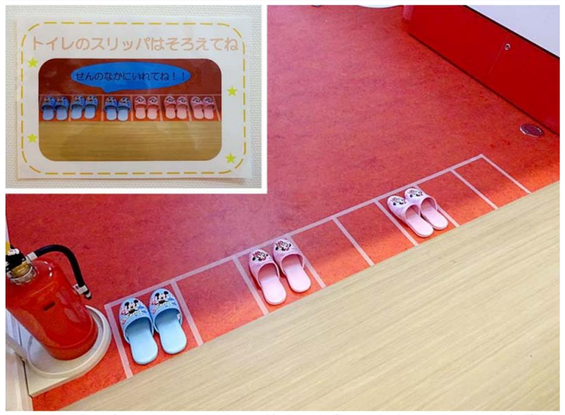
園庭「あそびの森」

運河につながる広い園庭では、往来する船舶を間近に見ることができる。太陽光発電や風力発電のほか、桟橋に停泊した船から給電できるシステムも導入。手や足を洗うためのシャワー設備も用意されている。

4-5歳児用　トイレ図面

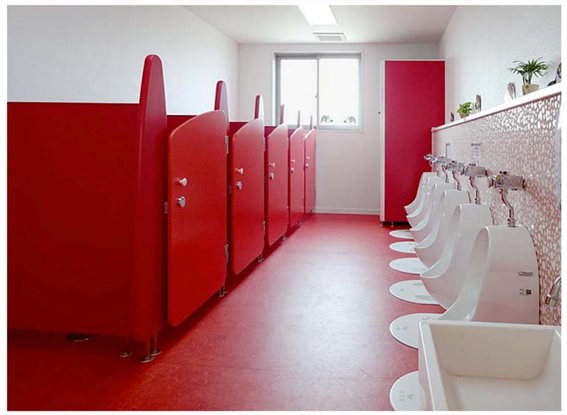


トイレ入口



人間の才能である心の力、学ぶ力、体の力を身につけさせるヨコミネ式教育法を実施しており、その一環として、トイレのスリッパをきれいにそろえるように指導している。

4歳児用トイレ



4歳児が使用するトイレのテーマカラーは「赤色」。色彩感覚を養うために、「日本の色」をコンセプトにカラーリングされている。

5歳児用トイレ

5歳児が使用するトイレのテーマカラーは「青色」。トイレ入口を広く確保しているため、職員も目が届き、園児たちも安心して利用できる。

5歳児用トイレ

大便器ブースはすべて個室タイプで、大便器は3～5歳児向けの幼児用大便器を設置。小便器のリップ高さは5歳児が使いやすい高さに設定し、足元にはハイドロセラ・フロアキッズを設置している。

4歳児用トイレ

小便器リップ高さは4歳児が使いやすい高さに設定。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減できる、ハイドロセラ・フロアキッズを設置。立ち位置を示す動物のフットマークが描かれている。

4歳児用トイレ

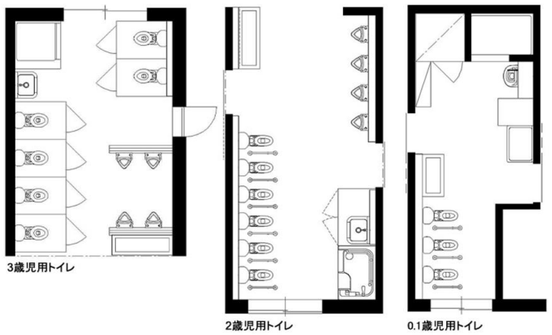
5歳児用トイレ同様、大便器ブースはすべて個室タイプで、扉は職員が見守りやすい高さに設置している。

2015.07 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved 29255

江東湾岸サテライト スマートナーサリースクール テニスの森キャンパス　2/2

TOTO

0-3歳児用　トイレ図面



3歳児用トイレ

3歳児が使用するトイレのテーマカラーは「水色」。モザイクタイルが空間のアクセントになっている。

0-1歳児用トイレ

0-1歳児用のトイレは、保育室の中に設置。沐浴用に住宅用の洗面化粧台「オクターブ」を採用している。3歳児用トイレ同様、シャワーズースも1ヶ所設置している。

0-1歳児用トイレ

大便器はオープンスタイルで、順番待ちのためにベンチを設置。水の出しとめ操作などの教育の一環として、手洗器の水栓金具はハンドル式を採用している。

3歳児用トイレ

3歳児用トイレの大便器ブースも個室タイプ。粗相をした際などに対応できるように、シャワーブースを1ヶ所設置している。

2歳児用トイレ

2歳児用トイレのテーマカラーは「黄色」。職員がサポートしやすいようにゆったりとしたスペースが確保されている。

多機能トイレ

1Fホールの多機能トイレは、車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト多機能トイレパックを採用。送迎時のおむつ替えに配慮し、ベビーシートとベビーチェアも完備している。

厨房

感染対策として、厨房にはしっかり洗うことができる、スタッフ用手洗器を2ヶ所設置している。

2歳児用トイレ

2歳児用トイレの大便器はオープンスタイル。教育の一環として、手すりには使用するトイレットペーパーの長さの目安が示されている。

2歳児用トイレ

2歳児用の小便器は、使用中の身体を支えるためにグリップ付きを採用。掃除流しブースの横に、粗相をした際などにも対応できるように、幼児用シャワーパンを設置している。

建築概要

名　　称	江東湾岸サテライト スマートナーサリースクール テニスの森キャンパス
所 在 地	東京都江東区有明1-5-22
施　　主	社会福祉法人高砂福祉会
設計施工	積水ハウス株式会社 京葉支店
設計協力	株式会社龍美一級建築士事務所
竣工年月	2015年3月

水まわりの特長

＜施設の概要＞

江東区では、待機児童数を減少させるため、全国で初めてサテライト保育所を2014年4月に開設。サテライト保育所とは、交通の利便性が高い駅周辺に設置した分園で乳幼児を預かり、0～1歳児は分園で保育し、2～5歳児はバスで本園まで送り迎えし、本園で保育するというシステム。テニスの森キャンパス（本園）は、その第2弾として2015年4月に開園。停電時には、電気自動車や船舶から電力供給を受けられるほか、太陽光や風力発電も導入。断水時にトイレ洗浄に利用する雨水タンクも整備。日常はエコな保育、災害緊急時には子どもたちを守り、被災後の園児たちを支える設備を備えている。

＜トイレの特長＞

各トイレは年齢ごとに明るい空間を実現するテーマカラーを設定し、トイレトレーニングを行なえるトイレづくりをすることで、成長の段階にあわせて園児が使いやすいトイレをえらべるようにした。小便器の足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減できる、ハイドロセラ・フロアキッズを設置。動物のフットマークにより、立ち位置がわかりやすくなり、おしっこの飛び散りや臭いを抑える効果を発揮しているとのこと。「トイレが清潔だと保護者も安心する」というお話もあった。そのほか、教育の一環として、各コーナーには、トイレの特長や使い方を紹介した説明パネルを掲示し、子どもたちにトイレを身近に感じてもらえるようにしている。また、手洗器の水栓金具も、教育のためハンドル式を採用している。

2015.07 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　29255